

ジー・ゲート社長 佐藤 宏明さん (42)

投資目的のマンション事業で培ったノウハウを生かし、投資型の介護付き老人ホームの運営に乗り出しました

「バブル崩壊後も賃貸物件の家賃はあまり下がっていません。マンションを購入して転売するのには、家賃収入を得る方が利回りは高くなっています。一方で、高齢化社会の到来に伴い、年金がもらえなくなるのではという不安が広がり、私

「当初はアウトソーシングを考えていました。いろいろな施設を見学しましたが、入居者が十分満足できるようなサービスを提供しているところは少ないという印象を受けました。介護保険がスタートして、まだ日が浅いということも影響している

——介護については、どのように対応してきましたか

入居一時金不要で気軽に体験を

「最初はアウトソーシングを考えていました。いろいろな施設を見学しましたが、入居者が十分満足できるようなサービスを提供しているところは少ないという印象を受けました。介護保険がスタートして、まだ日が浅いということも影響している

「都市型の場合は、もともと住んでいたところから近い場所で、簡単に家族が行き来できるというメリットがあります。当社の施設も週末には、大勢の家

か、入居者の行動パターンに合わせた情報発信を行うとか、建物内で付加価値サービスが受けられるようなイメージです。また、介護予防のために運動しているシニア層に対して、スポーツクラブを通じてサービスを提供していきます。当社は今後、都市型の総合生活サービス企業を目指します」

(稲澤真二)



《プロフィール》1997年ワールドクリエイティブ代表取締役兼取締役に就任。2002年11月にジー・ゲートに社名変更。05年9月に都市型介護付き老人ホームの1号物件の分譲をスタート。東京都出身。

投資型介護付き老人ホーム進出

